

港区議会議員

区民相談は  
お気軽に!

# 池田たけしNEWS

一人のために、地域のために



発行所：〒107-0052 港区赤坂6-7-14-608 TEL&FAX：03-6230-9441  
発行日：2025年1月2日 URL：https://ikedatakeshi.net



## 令和6年港区議会第4回定例会

### 代表質問

#### 防災士の活用について

**Q** 区が助成し養成した1,000名の防災士を活用し、地域防災力向上のために地域へ繋げ、相互協力できる取組みを進めるべき

**A** 防災士が地域防災協議会などと顔の見える関係を築き、相互協力ができるよう研修、訓練の機会創出に取り組む

#### ユマニチュードについて

**Q** 認知症の方の自立とコミュニケーションを回復するケア・アプローチ「ユマニチュード」を施設や在宅へ広めることについて

**A** 今後、先進自治体の事例を踏まえ「ユマニチュード」の考え方や技法を介護現場に取り入れられるよう周知していきます。

#### 若者の孤独死について

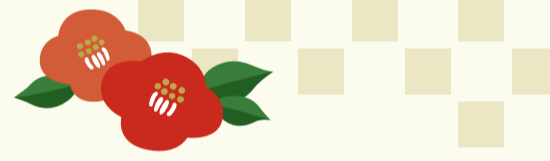
**Q** 増えている若者の孤独死(自殺)防止をさらに深めるため、24時間相談など重層的な体制の整備、強化を進めるべき

**A** これまでの支援に加え、傾聴支援の「心のサポーター」の養成や、24時間対応の相談体制構築も検討していく

#### 災害時のための自身での薬の備蓄について

**Q** 医師会、歯科医師会、薬剤師会とも連携し、慢性疾患の方が自身の薬の備蓄とお薬手帳を携行する啓蒙・周知を行うべき

**A** 災害時の最低3日分の薬の備えや、注意点を三師会など関係機関と連携し、ホームページやSNSで周知・啓発に努める



### 実績

#### 青山バス停根上り修復



都営「北青山1丁目アパート前」バス停付近の道路が街路樹の根上りで盛り上がり、車イスなどの方の通行に支障があるため、路面の修復を行いました。

#### バス停にベンチを設置



港区コミュニティバスちいばすと都バスの2路線が走る「青山1丁目駅前」バス停にベンチを、との地域からの声を受け一休みできるベンチを設置しました。

#### 歩道歩行空間の確保



麻布薬園坂のガードパイプ内歩行者通路に赤コーンが設置されており、歩行者やベビーカーなどのすれ違いに支障が起きていました。警備関係者にお申し歩行空間の確保をして頂きました。

#### 歩道張り出しの植栽剪定



赤坂2丁目のオフィスビル前の植栽が繁茂し、狭い歩道に張り出して通行に支障が出ているとの声を頂き、駅からの人通りもあるため管理者にお申し剪定して頂きました。

#### 団地カーブ先の注意喚起



都営北青山1丁目アパート外周路の先が見えない急カーブの手前に、「速度落とせ」との注意喚起を路面に敷設。学校も隣接するため歩行者飛び出し注意の標識も併せて設置しました。

#### 路地への車両進入を規制



赤坂3丁目の「車両通行止め」の路地に進入してくる車の対策を、との声を受け注意を喚起する表示と赤ポールを路地の両側に設置しました。

# 港区議会公明党令和6年4定共通実績

## おたふくかぜ・インフルエンザワクチンの助成拡大

港区議会公明党は、令和6年度予算特別委員会において、おたふくかぜワクチン接種費用の助成開始と、こどものインフルエンザワクチン助成額の増額を提案しました。その結果、以下の施策が実現しました。

### ・おたふくかぜワクチンの助成開始

1歳から小学校就学前までの子どもを対象に、1回につき7,000円(最大2回分)の接種費用を助成する制度が令和7年7月から開始されます。この取り組みにより、子育て世代の経済的負担が大幅に軽減されます。

### ・こどものインフルエンザワクチン助成額の増額

本年10月から、助成額がこれまでの3,000円から4,500円に増額され、より多くの家庭が予防接種を受けやすい環境が整えられました。これからも、子どもたちの健康を守り、安心して子育てできる港区を実現してまいります。



## EV(電気自動車)の環境学習用スケルトンゴミ収集車を導入

港区では全国で初めて、EVの環境学習用スケルトンゴミ収集車「3代目みえる号」を導入。

清掃車両の仕組みを学び、ごみの積み込み体験を通して事業理解、ごみの減量やリサイクル意識の向上を目指します。また災害時には電源車として給電することもできます。

公明はEV車両の導入を平成31年第1回定例会から訴えていました。



## 賃貸住宅の借りづらさを抱える人のために支援協議会を設置

港区では賃貸住宅の借りづらさを抱える、高齢者、障がい者など特に配慮が必要な方を支援するため「住宅確保要配慮者居住支援協議会」を設置。

今後、社会福祉協議会、不動産団体、区の関係機関が連携して必要な措置を協議し対応していきます。

公明党は、賃貸住宅の借りづらさへの対応のために、居住支援協議会の設置を平成29年第2回定例会から求め、実現しました。



## 「書かない窓口」が開設されます

来庁者が区民課の窓口で必要な申請書等を複数作成する場合、「住所・氏名・生年月日など(以下「基本情報」という。))をそれぞれ記入しなければならず、時間と手間がかかり、来庁者にとって負担となっていました。港区議会公明党は令和6年度予算要望などにおいて、行政窓口における区民、職員双方の負担軽減のため、手続きのデジタル化とマイナンバーの普及促進に合わせ活用方法の充実を求めて参りました。その結果、港区では2025年2月からマイナンバーカードや運転免許証を活用して基本情報が自動印字されるシステムを芝地区総合支所区民課で試行的に導入することになりました。



## 港区奨学金制度が拡充されます

港区ではこれまで、港区奨学金制度を国の制度見直し時に合わせ拡充を図ってきました。港区議会公明党は、結党以来掲げる教育の無償化を推進するため、昨年11月の予算要望などで、奨学金の拡充を訴えてきました。その結果、港区では令和7年度から、多子世帯において、給付型奨学金の年収上限を、1000万円まで拡充。同様に、私立の理工農系学部に進学する学生への区独自の給付額上乘せについても、年収上限を1000万円に拡充します。また、貸付型奨学金についても、令和7年度から所得制限を撤廃したうえで、返還免除の要件を見直し、国家資格取得者の従事場所を区内から都内へ拡大したり、都内の学校の教育職員も免除対象者に追加したり拡充されます。



## オーガニック給食イベントの実施

港区議会公明党は、令和4年度決算特別委員会や令和5年第4回定例会において、区立学校でのオーガニック給食の実施を提案してきました。その結果、令和6年12月6日に港区立赤坂学園で「オーガニッククイズ～オーガニックビレッジ連携給食～」が試験的に開催されました。このイベントでは、有機農産物を使用した給食の提供に加え、農林水産省や生産者による食農教育が実施され、子どもたちが有機農業の意義や持続可能な食の重要性を学ぶ機会が提供されました。この取り組みは、子どもの健康を守るだけでなく、環境保護の推進や国産農家への応援にもつながる重要な一歩です。今回の取り組みを契機に、定期的なオーガニック給食の実現に向けて、引き続き働きかけてまいります。



## 全ての区立小学校でプレクラス制度導入へ

港区は、来年度から全区立小学校で、入学当初1か月は仮の学級編成で過ごす「プレクラス制度」導入します。

小学1年生の学級編成時には、幼稚園、保育園、インターナショナルスクールなど所属が様々で、児童の事前情報がほぼ無く。

例えば、衝動的な行動を取る傾向が強い発達障がい児が同じ学級に集中すると、教員の負担がかなり大きく、まして教員が新任では手に負えずに、最悪、学級崩壊となってしまうこともあります。

そこで令和6年第1回定例会の予算委員会で、区立白金小で導入されていた、プレクラス制度を全ての区立小学校で共有することを提案し、実現へ。



## 止水板(止水パネル)の購入を助成します

港区議会公明党が令和6年第3回定例会の代表質問で訴えていた、止水板の購入助成が実現。もともと、港区の防災用品あっせん事業で、特別価格であっせんされていたもので、6万500円の購入費の半額の3万500円を助成するものです。本年8月21日、港区内で記録的短時間大雨情報が発表され、住戸などで床上浸水が発生したことから、被害状況を細かく把握する仕組みづくりや、雨水ます周辺の定期的な点検や清掃に加え、被害が予測される地域への止水板の配布など提案していました。



## 若年世帯や子育て世帯の住宅購入に補助金や金利優遇支援

港区は、若年世帯や子育て世帯への住宅取得支援事業補助金を12月6日より開始。高校生以下の子どもがいたり、夫婦どちらか40歳未満なら、良質な港区内の住宅購入すると、補助金10万円と、フラット35のマイナス0.5%の金利優遇が受けられます。ZEH水準適合や長期優良住宅、港区の管理計画認定マンションなら、金利優遇ポイントで更なる費用軽減が得られることに。2022年11月、港区公明党青年局で街頭アンケートを実施し、若者の住宅支援を求める声が多く、その結果を前港区長に届け、様々支援が拡充されています。

